



～ 白内障手術前の大切な検査をサポート ～ 光学式眼軸長測定装置のご紹介

要 旨

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル」号外（医療機器編 vol.7）を発行しました。「病院バックヤードに潜入」をテーマに、普段はあまり目にすることのない医療機器などを紹介しています。

眼科では、白内障手術前に必要となる「角膜、水晶体、眼球の長さ」などを測定する機器を活用し、より正確で負担の少ない検査体制を整えています。非接触で短時間に測定できることから、患者さんの安心につながるだけでなく、手術計画の精度向上にも寄与しています。

概 要

【ぬまピタル号外（医療機器編 vol.7）】

- 1 発行日 令和8年1月5日(月)
- 2 閲 覧 沼津市立病院 病院管理課から データ配信のみ
([沼津市立病院ホームページ](#)、全国広報誌アプリ「マチイロ」、院内デジタルサイネージ)
- 3 特記事項 ・「ぬまピタル」号外は、月1回程度データ配信し、
当院の医療機器など、さまざまな内容を紹介します。
・医療現場を裏で支える医療機器などを紹介することで、
市民のみなさまに親しみを持っていただきたいと思います。

※取材対応可能です。ぜひご連絡ください。

お問い合わせ先

沼津市立病院 事務局 病院管理課
直通：055-924-5100（代表）



沼津市立病院
NUMAZU CITY HOSPITAL

— 地域のために前進をつづける病院を目指して —
当院の医療現場で活躍する機器を紹介します



白内障手術の最初の一步

こうがくしき がんじくちょう そくていそうち 光学式眼軸長測定装置

- 機器が目に触れない非接触型のため、患者さんの負担を軽減
- 白内障手術に必要な「角膜、水晶体、眼球の長さ」などの情報を瞬時に測定

